

### 演習問題3

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

#### ウラ模試2

[No.9] 音響に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 低音域共鳴透過現象は、単層壁では生じない。
2. 音の大きさの感覚量は、音圧レベルが一定の場合、低音域で大きく、3～4kHz付近で最小となる。
3. 聴覚のマスクングは、目的音（マスクされる音）の周波数に対して妨害音（マスクする音）の周波数が低い場合に生じやすい。
4. 多孔質吸音材料を、より広帯域にわたる吸音を目的として使用する場合、吸音材の背後に空気層を設けることが効果的である。

#### ウラ模試2

[No.10] 音響に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 室の天井に吸音材料を新たに設置する場合、吸音材料の設置前と比べた設置後の音響変化として、室内で会話をするとき、音声の明瞭度は高くなる。
2. 壁の音響透過損失を 20dB 増加させるためには、壁の音響透過率を現状の 1/100 にする必要がある。
3. 音源と観測者の間の相対運動がある場合、音の発信源と観測者が近接する場合に振動数は増加し、遠ざかる場合には振動数は低下する。
4. 屋外において、遠方の音源から伝搬する音の強さは、空気の音響吸収によって低音域ほど減衰する。